

川上村地域公共交通活性化協議会

平成21年3月23日設置
平成22年3月17日連携計画策定



概要

川上村は(主)梓山海ノ口線を幹線道路とし、その沿線に集落や主要施設が分布する。その幹線道路を運行ルートとして、村営バスが1路線運行されている。連携計画策定における調査では近年減少している利用者数・運賃収入への対応、JR小海線との接続、特に若い世代が抱く運賃の割高感への対応、需要に合わせた車両での対応、公共交通空白地域の解消、信濃川上駅における利用者へのサービス向上が課題として上げられた。そこで、これら課題を解決するために、村営バス活性化プロジェクトとし、現状路線のJR小海線接続見直し、新たな路線の設定といったサービス拡充策に併せ、周知パンフレットの作成といった周知PR策を計画事業として盛り込み、一層の村営バス活性化を図るものである。

○新運行体系による村営バスの実証運行

《新路線の設定》

現在、村営バス路線では公共交通空白地域となっている「樋沢地区」「本郷集落」と村中心部を巡る「新路線(コミュニティバス)」を新たに運行する。その車両を用いて、現在お昼の時間で対応できていないJR小海線との接続させた便を増便させる。

《ダイヤ見直し》

また、現在運行している便についても、一部対応できていないJR小海線との接続が可能となるようにダイヤを見直す。

○住民向け周知パンフレットの作成

村営バスはダイヤの見直しなど新しい運行体制となることから、そのことを広く住民に周知してもらい、また村営バスに関心を持ってもらうために、住民向けにパンフレットを作成し、村営バス事業の周知・PRに努める。

○来村者向けの信濃川上駅への情報提供板の作成とパンフレット作成

《情報提供板の作成》

観光施設や主要施設と村営バス等の公共交通機関の情報を一体的に見せるための情報提供板を作成する。

《パンフレットの作成》

川上村ではJR小海線が運行されており、観光シーズンには列車で来村する人もいる。そこで、来村者にも、JR小海線の二次交通として村営バスを利用してもらえるよう、時刻表やルートなど情報を盛り込んだパンフレットを作成し、周知・PRに努める。

○村営バス事業における継続的な利用調査

利用者数や利用者の満足度不満点等を調査し、データを蓄積させる。

村営バスダイヤ見直しと進路線の設定及び駅での情報掲示板作成 概要図

《村営バス運行ルート図》



《新路線の運行ルート図》

